

地域学校協働本部だより

第12号
令和4年3月15日(火)発行
大玉村地域学校協働本部（農村環境改善センター内）
大玉村玉井字西庵183 TEL 0243-48-3139

本年度も地域学校協働活動の実施にあたり 大変お世話になりました

大玉村地域学校協働本部は、コロナ禍の中、これまでのモデル地区の研究実践経験を生かして今できることは何かを追求しながらこの1年間取り組んでまいりました。

コロナ禍は、人とのふれあいや関わりを基盤とする本活動にとって大変厳しいものでありますが、ボランティアの皆様、学習サポーターの皆様、地域及び幼稚園・学校関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら何とか進めてきました。心より御礼申し上げます。

この難しい状況がいつまで続くのかは未だ分かりませんが、今後もコミュニティ・スクールと一体となって進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大玉村地域学校協働本部一同

土曜日、長期休業中の学習支援活動

共に学ぶ『おおたま未来塾』

昨年度に引き続き感染症対策を確実に行之、12回の学習会を無事終えることができました。

ご指導をいただきました福島大学の学生の皆様始め、保護者の皆様、中学校の先生方などたくさんの方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

- 新型コロナウイルス感染防止の徹底を図るため、検温や消毒を徹底し、2つの学習班を編成してソーシャルディスタンスを確保するなど工夫して実施しました。
- 毎回7名前後の学習サポーターと約85%（37名前後）の生徒が参加し、充実した学習会が開催され、国語・数学・英語・理科・社会の3年間の復習を終了することができました。
- 参加者のアンケートの結果から、ほぼ100%の生徒が「参加してよかった」「講師の指導がとてもよかった」「授業内容がよく分かった」など好評で、効果的に事業を展開することができました。次年度もコロナ禍の中の実施になると思われますが、感染防止対策をしっかりと行いながら、生徒の実態、ニーズに応じた充実した事業を実施してまいります。

～中学3年生の声～

- 楽しく勉強する時間がとれてよかった。
- プリントの問題を解いている中で、家で勉強していても分からないところをすぐ大学生に聞くことができ、自分の苦手なところを見つけ、復習することができました。
- 思っていた以上に勉強に集中することができました。
- 復習が足りないところや不安なところを見つけることができ、これからの勉強に生かせるなと思いました。
- 大学生が、分からない問題をやさしく分かりやすく教えてくださり、とてもうれしかった。



連携・協働活動

◎ 今年度実績: ボランティア登録数104名
活動要請件数64件、活動延べ人数414名
令和4年3月1日現在

3学期も学校支援ボランティアの皆さんにはコロナ感染予防対策をとりながら、幼稚園、小・中学校の様々な活動に参加していただきました。皆様には、この1年間学校支援活動にご協力をいただき本当にありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

園行事支援活動

「豆まき」 令和4年2月3日（木）

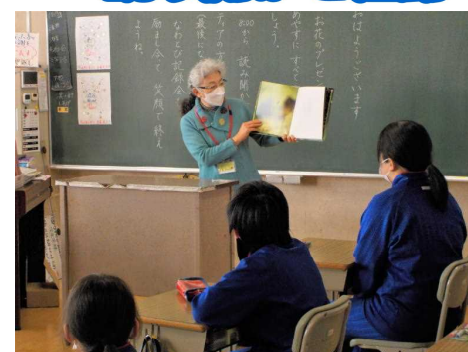


節分の日、どこから来たのか玉井幼稚園に怖そうな赤鬼と青鬼が現れ…。園児たちは、はじめは怖くて逃げ回ったり泣いてしまったりする子もいましたが、勇気をだして怖い鬼に立ち向かい、精一杯の力をこめて豆まきをしていました。その気合いに負けたのか、赤鬼さんと青鬼さんは「おどろかせてごめんなさい。もうしません。許してください。」と謝りました。優しい園児のみなさんに許してもらって最後は仲良くみんなで写真を撮りました。鬼たちは、園児のみなさんに「バイバ～イ。」と手を振ってもらい、またどこかの山(?)へ帰りました。めでたし、めでたし…。



読み聞かせ活動

「朝の読み聞かせ」 令和4年2月25日（金）



大山小学校の6年1組・2組の読み聞かせを行いました。この日の本は『16歳の語り部』『いっしょだよ』でした。ボランティアさん自らが選んだ本を読んでくださっています。選ぶにあたって「高学年の子どもたちだから感じとってくれることがあるかな」と思って選びました。とおっしゃっていました。いろんな想いがあって選んだ本…。児童からも感想の発表があり、ボランティアさんの想いが通じていたようです。



学習支援活動

音楽科「和楽器に親しもう」 令和4年1月25日（火）



大玉中学校の1年生が、「和楽器に親しもう」の単元で箏の体験学習をしました。ボランティアの須藤綾子さんに参加していただき、美しい音の演奏を聴かせていただきました。その後みんなで「さくらさくら」を練習し、上手に弾くことができました。途中、学年の先生も飛び入り参加して盛り上がりました！担当の先生より、

「実際に箏を演奏することが出来たことは生徒たちにとって最高の体験となりました。体験を通して知識も身についたと実感しました。(期末テストで箏の単元の点数が高かった!)」と感想をいただきました。



放課後子ども教室

3学期の放課後子ども教室は、コロナ感染拡大の影響により、わずか2回の開催になってしまいました。このような状況でも、公民館に集まってくる子どもたちの元気なあいさつと笑顔は、私たちの残念な思いを忘れさせてくれました。この一年、ボランティアの皆様にはご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様にも「保護者ボランティア」として活動のお手伝いをしていただくなど、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

大山教室 ～手打ちうどん作り～



小麦粉と食塩水を軽く混ぜてこねます。こねて一つのかたまりにするのはなかなかつらかったようです。

休ませた生地を足で何度も踏みます。それがうどんの「こし」になっておいしくなります。(頑張りすぎて袋が破れてしまった子も…)



レンジで溶かしたあとは、固まる前に好みの色にしようと頑張っていました！



自分で分量を量るところから始めました。微妙な感じで難しそう…



麺棒で伸ばしていきます。こしが強くて伸ばしてもどってきて悪戦苦闘しました。



いろんな色を混ぜすぎたり、すぐ固まっちゃったりして加減が難しいところもありました。

最後は丁寧に切って完成です。本格的な手打ちうどんの完成でした！



一人一人の個性あふれる色やキラキラがとても印象的でした！笑顔いっぱいの活動でした。



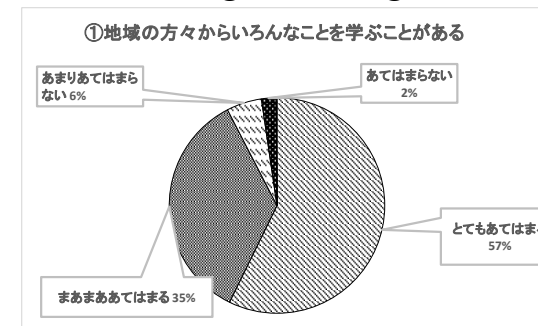
～ 6年生の声 ～

- 私は3年間子ども教室に参加していましたが、家や学校でできない活動ができるので、いつも楽しかったです。去年も今年もコロナの影響で活動回数が少なくなりましたが、他の学年の人とも話すことが多かったかもしれません。
- 友だちといっしょにできる以外に、他の学年やボランティアの人たちといっしょに、いろいろな体験ができてよかったです。

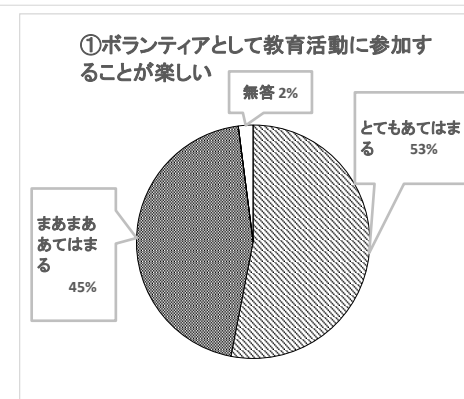
令和3年度「地域学校協働本部事業」アンケート集計結果より(主なものを抜粋)

【連携・協働活動】 ㊦ 児童・生徒 ㊧ ボランティア ㊨ 保護者 ㊩ 教職員 (令和3年12月実施)

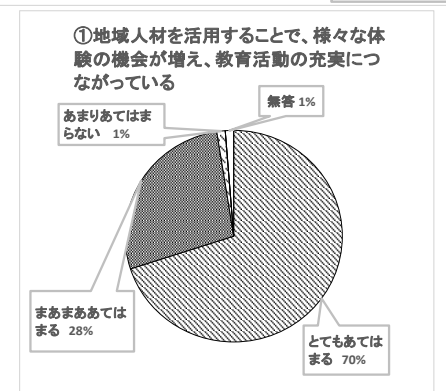
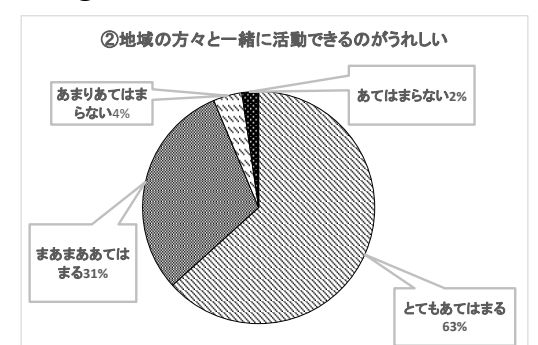
児童・生徒



学校支援ボランティア



教職員

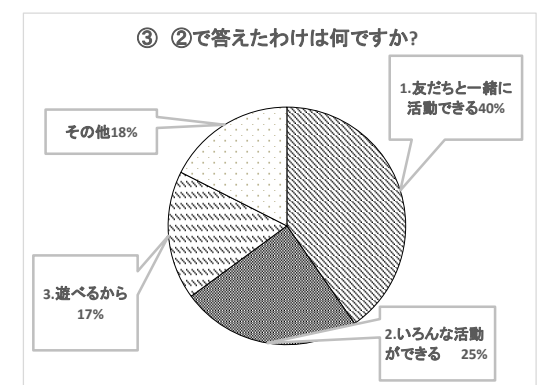
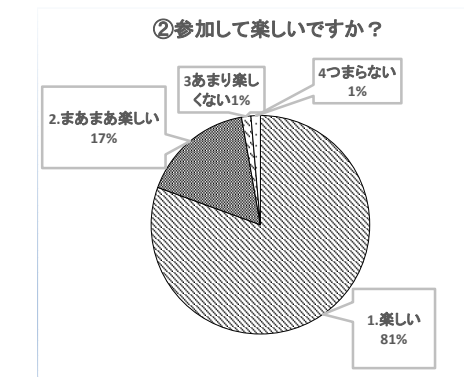


<感想等>

- ㊦ 地域の方が読み聞かせをしてくれたりして、勉強になることがたくさんあるし、地域の方とも関わって嬉しかったです。本がどれも面白くて心に響くものばかりなので、話を聞いているのがすごく楽しかったです。
- ㊩ 教員の知識だけでは補えないところが、地域の方に入ってくださいことで充実していくと思います。様々な取り組みがあってもいいと思いますが、年間計画にしっかり組み入れて、事前・事中・事後指導が充実したものになるといいと思います。
- ㊧ 私が関わった活動がきっかけで、子どもたちだけでなく地域の人も安全に過ごせる村になった。そんな活動に関わったことで役に立ったという実感があつた。

【放課後子ども教室】

児童



<感想等>

- ㊦ とても楽しいので、金曜日は朝からうきうきしています。(運動、いろいろな体験、遊びなど)
- ㊦ みんな面白くて楽しいです。宝石石けんできれいな石けんができて嬉しかったです。
- ㊧ まだ数回の参加ですが、子どもたちの様子は落ち着いていて、4, 5, 6年皆仲良く活動できていて嬉しく思います。
- ㊨ 今年はコロナで活動が少なかったのですが、うどん作り等体験させていただき支援ボランティアの方々に感謝しています。また来年もお世話になります。

放課後子ども教室
ボランティア

